



写真説明

上 テープにはさみを入れられる秩父妃殿下
 右上 河野オリムピック担当相のあいさつ
 右中 感謝状を贈られる丹下健三氏
 右下 式典に出席の田畑政治氏(向つて左側)
 表紙 代々木第一体育館内部

屋内総合競技場の竣工



オリムピックの水泳、バスケットの競技場となる代々木の国立屋内総合競技場が着工以来一年半ぶりに完成、九月五日午前十時半から水泳会場の本館で落成式が行なわれた。

出席者は秩父宮妃殿下、河野オリムピック担当相、愛知文相、石井体協会長、安川オリムピック組織委員会会長ら関係者約一千人。会場のプール・サイドでは電光掲示板に「祝」の文字が写しだされ、君ヶ代斎唱の後、愛知文相が「待望の聖火が沖繩に到着する日を前に最も代表的なこのオリンピック施設がめでたく完工したこと

はまことに意義ぶかい。建築学上でも画期的なものといわれるこの競技場は日本建築界の高い技術水準を示すもので、関係者の努力に敬意を表したい。大会後もスポーツの殿堂となり、スポーツの普及振興に寄与することを望む。」と式辞を述べ、前田文部省体育局長が設立経過報告を行ない、池田総理大臣あいさつ(白井総務長官代読)、のあと河野オリムピック担当相は「このりっぱな屋内競技場をオリンピックだけでなく、今後の国民の体力の発展充実に役立てるため努力するよう希望する。」と祝辞をのべ最後に安川オリムピックをあげた。

